

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：Office演習・基礎		小磯	■ 1年 前期	
到達目標	基本的なExcelの知識・技術の習得 基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		PC操作の習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業の説明/注意		
2	コンピュータの基本	コンピュータ（インターネット）の 利用法・活用方法 タイピング（10分）		
3	Excel・データの基本	画面構成・操作・選択・入力 タイピング（10分）		
4	表の編集	罫線・セルの書式・表示形式・調整 タイピング（10分）		
5	表の編集・印刷	表示モード・ページ設定・印刷範囲・印刷 タイピング（10分）		
6	練習問題	データの編集・表の編集の練習問題の実施 タイピング（10分）		
7	確認問題	データの編集・表の編集の確認問題の実施 タイピング（10分）		
8	復習問題	テスト		
9	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング（10分）		
10	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング（10分）		
11	ブックの利用と管理	ワークシートの管理と活用 ウィンドウの操作 タイピング（10分）		
12	関数	統計・数学/三角関数 練習問題 タイピング（10分）		
13	関数	論理関数・日付関数 練習問題 タイピング（10分）		
14	データベース機能	リストの作成・並べ替え・抽出 タイピング（10分）		
15	確認問題	確認問題の実施 タイピング（10分）		
16	総合復習問題	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：Office演習・基礎		小磯	■ 1年 後期
到達目標	基本的なWordの知識・技術の習得 基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得 Word文書処理技能認定試験3級合格		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	Excel操作の習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	コンピュータの基本	コンピュータ(インターネット)の 利用法・活用方法 タイピング(10分)	
3	Excel・データの基本	画面構成・操作・選択・入力 タイピング(10分)	
4	表の編集	罫線・セルの書式・表示形式・調整 タイピング(10分)	
5	表の編集・印刷	表示モード・ページ設定・印刷範囲・印刷 タイピング(10分)	
6	練習問題	データの編集・表の編集の練習問題の実施 タイピング(10分)	
7	確認問題	データの編集・表の編集の 確認問題の実施 タイピング(10分)	
8	復習問題	テスト	
9	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング(10分)	
10	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング(10分)	
11	ブックの利用と管理	ワークシートの管理と活用 ウィンドウの操作 タイピング(10分)	
12	関数	統計・数学/三角関数 練習問題 タイピング(10分)	
13	関数	論理関数・日付関数 練習問題 タイピング(10分)	
14	データベース機能	リストの作成・並べ替え・抽出 タイピング(10分)	
15	確認問題	確認問題の実施 タイピング(10分)	
16	総合復習問題	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、躰 ①挨拶 ②協力 2、基本習得（敬語） 3、傾聴			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業 サービス接遇3.2級検定について 受講上のルール 「公」以外の欠席はレポートあり	過去問題実施		
2	①総合敬語力テスト 現状の敬語力を知る	総合敬語力テスト		
3	②敬語の理解力 ③接遇の理解力※小テストを行い小さく積み重ねていく	小テスト		
4	②敬語の理解力 ③接遇の理解力※小テストを行い小さく積み重ねていく	小テスト		
5	②敬語の理解力 ③接遇の理解力※小テストを行い小さく積み重ねていく	小テスト		
6	②敬語の理解力 ③接遇の理解力※小テストを行い小さく積み重ねていく	小テスト		最終テスト
7	②敬語の理解力 テスト ③接遇の理解力※小テストを行い小さく積み重ねていく			
8	中間テスト	中間テスト		
9	検定対策に向けて 模擬テスト実施	模擬テスト		
10	敬語レベルを個人把握する グループで研究を行う	グループワーク実施		
11	敬語レベルを個人把握する グループで研究を行う	グループワーク実施		
12	敬語レベルを個人把握する グループで研究を行う	グループワーク実施		
13	敬語レベルを個人把握する グループで研究を行う	グループワーク実施		
14	敬語レベルを個人把握する グループで研究を行う	グループワーク実施		
15	対策講座と欠席者のレポート確認			
16	最終テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、目標級に取得 2、合格を通して「人生の達成感」経験する			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業 中間テストの振り返り 理解できてないところ把握と克服	中間テスト持参		
2	問題集42.43 各回の過去問をクリアしていく	敬語・文章・イラスト		
3	「敬語直し」編 アナウンス文の作り方	敬語・文章・イラスト		
4	問題集 各回の過去問をクリアしていく 「掲示文」の作り方 傾向研究、イラスト	敬語・文章・イラスト		
5	問題集 各回の過去問をクリアしていく 「迷子文」「販売文」の作り方	敬語・文章・イラスト		
6	問題集 各回の過去問をクリアしていく	敬語・文章・イラスト		
7	問題集 各回の過去問をクリアしていく	敬語・文章・イラスト		
8	総合テスト 採点と復讐			
9	電話対応教育 電話の受け方・名前伺い	発声と発話訓練		
10	電話対応教育 聞き取り・指名された相手が不在	発声と発話訓練 ロールプレイング		
11	電話対応教育 伝言の受け方とメモの作成	グループワーク 発表会		
12	電話対応教育 会話のバトンタッチ	グループワーク 発表会		
13	電話対応教育 クレームとは	グループワーク 発表会		
14	電話対応教育 クレーム対応	グループワーク 発表会		
15	電話対応教育 ケーススタディ	グループワーク 発表会		
16	最終試験 90分	サービス接遇3級、電話対応問題		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：サービス接遇		堂上	■ 2年 前期
到達目標	ビジネスシーンでの電話のかけ方対応のマナーを学ぶ サービス接遇 2 級、準 1 級対策		2単位 32時数
			実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	レポート提出 グループワーク演習受講状況
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について	
2	電話の受電スキル	フォーマット、話し方の知識、発声訓練は授業開始時毎回	
3	電話対応「話し方の知識」	①感じの良さ②話の要約③敬語④言葉遣い→二人で練習	
4	電話対応「話し方の知識」	①明瞭な発音②整った口調③落ち着いた声のある④分かりやすい話し方→二人で練習	
5	電話対応「話し方の知識」	⑤しっかりと話し方⑥端的な⑦区切りのある⑧電話の特性 →二人で練習	
6	模擬試験	①感じよく②相手を確認③用件④伝言を受ける	
7	模擬試験	⑤伝言を伝える⑥自分を紹介⑦他人を紹介⑧説明ができる⑨説得	
8	中間テスト	筆記テスト：範囲 知識B (知識/技能)	
9	導入解説	前クール振り返り、検定対策	
10	企業電話対応実践編	電話での挨拶、問い合わせ方、企業への求人応募、面接予約、お礼の電話グループワーク多用なケース対応(過去事例より)	
11	サービス接遇検定対策2級	過去問小テスト /解説	
12	サービス接遇検定対策2級	過去問小テスト /解説	
13	サービス接遇検定対策 準1級	グループワーク (挨拶/説明/対応訓練)	
14	サービス接遇検定対策 準1級	グループワーク (挨拶/説明/対応訓練)	
15	サービス接遇検定対策 準1級	グループワーク (挨拶/説明/対応訓練)	
16	最終テスト	筆記テスト：範囲： 話し方の知識/技能/実技	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ペット美容概論		吉満	■ 1年 前期	
到達目標	トリマーとしての基礎知識を学ぶ 写真を見ながらイメージを持つ 道具の名称と使い方、トリミング用語をマスターさせる 各犬種のスタンダードスタイルを覚える			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		テスト・演習内容
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業の説明/注意		
2	トリミング道具の名称	取り扱い方法、消毒法、 トリミング用語		
3	スリッカーの使い方	注意点や持ち方 ウイッグ使用		
4	爪切り、耳掃除、血管や耳の構造について	実習で行っていることを覚えているか		
5	骨格について	耳・尾・背・目 四肢の犬種よっての違い		
6	足回りの作り方 ラムクリップ	足先バリカン 丸刈り(毛の流れ確認)・注意点確認		
7	中間テスト	テスト		
8	リボン作り	りぼんつけの練習も		
9	シザーリングテスト	ハサミのテスト		
10	トリミングとグルーミング	ラインの名称・被毛の性質		
11	スタンダードスタイル	シュナウザー・コッカーカット		
12	ペットクリップ	マルチーズ・シーズーの サマーカット		
13	ペットクリップ	ポメラニアンのカット・ ヨーキーのサマーカット		
14	スタンダードスタイル	プードルのラムクリップ サマーマイアミ		
15	テスト	テスト		
16	スタンダードスタイル	スタンダードクリップのライン mm数		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物形態機能学		月時	■ 1年 前期	
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	生体を構成する要素 細胞／組織／ホメオスタシス		
2	神経系の役割	神経の基本的構造①ニューロン ②有機神経と無髄神経		
3	脳・脊髄・神経	情報伝達のメカニズム		
4	脳・脊髄・神経	電氣的伝達／化学的伝達 神経伝達物質		
5	耳・眼（聴覚）	感覚器の役割①感覚の順応 ②感覚の投影		
6	耳・眼（視覚）	眼球の役割と構造②副眼器 ③視覚の仕組み		
7	テスト	神経系の筆記テスト ①聴覚 ②視覚		
8	試験解説	解説／理解状況の把握 次回以降の授業の検討		
9	脳・脊髄・神経	神経の分類①中枢神経 ②末梢神経③脊髄④大脳		
10	内分泌系／ホルモン	内分泌系の役割 視床下部 下垂体 成長ホルモン アドレナリン/ノルアドレナリン		
11	内分泌系／ホルモン	甲状腺のホルモン/カルシウムとリンの代謝 副腎のホルモン/膵臓のホルモン		
12	血液・リンパ・免疫	血液・リンパ系の役割と構造 ①血液 ②リンパ系		
13	血液・リンパ・免疫	生体防御の仕組み ①非特異的防御機構②特異的防御機構		
14	咽喉頭	呼吸器系の役割と構造		
15	テスト	最終筆記テスト		
16	試験解説	テストの解説、間違いが多いポイントの指摘 再学習が必要な箇所抽出		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物形態機能学		月時	■ 1年 後期	
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。			2単位 32時数
				実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	感覚器系	眼、耳の構造。味覚、嗅覚、痛覚の仕組み		
3	内分泌系	内分泌機能と作用。 ホルモンの働き		
4	内分泌系	内分泌機能と作用。 ホルモンの働き		
5	消化器系	消化器の構造とはたらき		
6	消化器系	消化器の構造とはたらき		
7	中間テスト	筆記テスト		
8	解答・解説	テスト解説		
9	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
10	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
11	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
12	循環器系	心臓		
13	循環器系	リンパ		
14	泌尿器系	泌尿器系の成り立ちと構造		
15	テスト	筆記テスト		
16	解答・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物形態機能学		月時	■ 2年 前期
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器 レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	泌尿器系	泌尿器の仕組み	
3	泌尿器系	疾患・治療	
4	生殖器	生殖器の仕組み・疾患・治療	
5	消化器	消化器の仕組み	
6	消化器	疾患・治療	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却・解説	テスト解説	
9	呼吸器系	呼吸器系の仕組み	
10	呼吸器系	呼吸器系の仕組み	
11	呼吸器系	疾患・治療	
12	血液・リンパ系	仕組み	
13	血液・リンパ系	疾患・治療	
14	血管系	仕組み・疾患・治療	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却・解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物形態機能学		月時	■2年 後期
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織臓器 レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
3	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
4	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
5	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
6	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却解説	テスト解説	
9	皮膚	皮膚・被毛	
10	骨	骨・筋肉	
11	内分泌	内分泌系	
12	内分泌	内分泌系	
13	消化器	消化器系	
14	循環器	循環器系	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説 総まとめ	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物繁殖学		月時	■ 2年 前期	
到達目標	犬猫の繁殖生理・行動について理解する 犬や猫といった家庭動物も、人工繁殖、避妊などの人為的なコントロールが必要であること動物たちの長寿化が進み、生殖器疾患が多くなり予防方法を理解する			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	雄、雌の繁殖生理	概要		
3	雄、雌の繁殖生理	概要		
4	雄、雌の繁殖生理	概要		
5	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
6	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
7	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
8	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
9	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
10	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
11	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
12	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
13	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
14	犬の生殖器について	雌犬の生殖器		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物繁殖学		月時	■2年 後期
到達目標	犬猫の繁殖生理・行動について理解する 犬や猫といった家庭動物も、人工繁殖、避妊などの人為的なコントロールが必要であること動物たちの長寿化が進み、生殖器疾患が多くなり予防方法を理解する		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	犬以外の繁殖	「野生動物の繁殖」カモシカ、シカ、クマ、サル類	
3	犬以外の繁殖	「野生動物の繁殖」カモシカ、シカ、クマ、サル類	
4	犬以外の繁殖	「野生動物の繁殖」カモシカ、シカ、クマ、サル類	
5	犬以外の繁殖	「野生動物の繁殖」カモシカ、シカ、クマ、サル類	
6	繁殖	発情期	
7	繁殖	発情期	
8	繁殖	受精・着床・妊娠	
9	繁殖	受精・着床・妊娠	
10	繁殖	分娩	
11	繁殖	分娩	
12	出産	難産・死産・流産	
13	出産	難産・死産・流産	
14	試験対策	振替・復習	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却・解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物薬理学		松尾	■ 1年 前期
到達目標	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明／学習のポイント 試験範囲	
2	動物病理学総論	病理学の意味役割 疾病の様々な原因	
3	動物病理学総論	疾病とホメオスタシスについて	
4	病気の変遷	病気の発生の機序について 病気の成り立ちと変遷、臓器の変化について理解	
5	細胞や組織に生じる変化	細胞傷害の過程、因子。細胞傷害を受けた 細胞の変化＝壊死とアポトーシス。萎縮	
6	退行性病変	組織の萎縮と変性。 壊死とアポトーシス。萎縮	
7	進行性病変	肥大と増生。細胞の増殖と組織の変化＝変性。 組織の修復と治癒＝再生。創傷の治癒。骨折の治癒	
8	テスト	筆記テスト	
9	循環器障害	血液の循環障害	
10	循環器障害	血液凝固と綿溶系	
11	循環器障害	血液の閉塞＝血栓症、 塞栓症、梗塞	
12	炎症	5大兆候。経過と治癒過程。 急性炎症と慢性炎症。	
13	腫瘍	腫瘍の定義と役割。 原因と発生のメカニズム。腫瘍の種類など	
14	奇形	先天異常。原因。分類	
15	組織標本	組織標本の作成法	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物病理学		平野	■ 2年 前期	
到達目標	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	薬理学総論	薬理学の基礎		
3	薬理学総論	薬理学の基礎		
4	薬理学総論	薬理学の基礎		
5	薬理学総論	薬理学の基礎		
6	薬理学総論	薬理学の基礎		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却・解説	テスト解説		
9	薬剤	神経系に作用する薬		
10	薬剤	抗炎症薬		
11	薬剤	循環器に作用する薬		
12	薬剤	呼吸器に作用する薬		
13	薬剤	泌尿器に作用する薬		
14	薬剤	ホルモン薬		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物病理学		平野	■ 2年 後期	
到達目標	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	投与方法	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
3	投与方法	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
4	投与計算	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
5	薬物動態	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
6	半減期	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却・解説	テスト解説		
9	中毒	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
10	耐性	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
11	相互作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
12	薬剤管理	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
13	作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
14	作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物感染症学		月時	■ 1年 前期	
到達目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	感染症の成立	感染症の定義。成立するための3要素		
3	感染と発症 感染の経路	潜伏期、不顕性感染、日和見感染など		
4	感染経路の遮断 宿主の感受性	経口感染、経皮感染、創傷感染、飛沫感染		
5	微生物	微生物の定義		
6	細菌	構造、分類、増殖、培養、治療		
7	中間テスト	筆記テスト		
8	真菌	構造と形態、検査法、治療、予防		
9	ウイルス	一般性状、構造、分類、培養、増殖、変異、治療		
10	寄生虫	内部寄生虫		
11	寄生虫	外部寄生虫		
12	感染症	狂犬病、ジステンパー、アデノウイルスなど		
13	免疫とアレルギー	免疫、アレルギー		
14	衛生管理	滅菌と消毒		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物感染症学		月時	■ 1年 後期
到達目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。		2単位 32時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明／注意	
2	微生物	微生物について	
3	微生物	微生物について	
4	感染症	感染が成立するための3要素	
5	感染症予防	感染経路遮断法	
6	感染症予防	感染防御 免疫	
7	テスト	筆記テスト	
8	試験解説	テスト解説	
9	感染症予防	感染防御 免疫	
10	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
11	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
12	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
13	滅菌法と消毒	小動物の滅菌法と消毒法	
14	滅菌法と消毒	外部からの病原微生物の侵入・ 持ち込み防止	
15	テスト	筆記テスト	
16	試験解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクールオブビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物看護学総論		池上	■ 2年 前期	
到達目標	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。			2単位 32時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	獣医療の歴史	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
3	動物看護の資格化の軌跡	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
4	動物看護の資格化の軌跡	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
5	動物看護学総論	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
6	動物看護学総論	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却解説	テスト解説		
9	動物看護師の需要と必要性	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
10	動物看護師の需要と必要性	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
11	倫理観	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
12	倫理観	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
13	インフォームドコンセント	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
14	インフォームドコンセント	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説 総まとめ	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物医療関連法規		月時	■2年 後期	
到達目標	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	動物関連法規	法とは何か 法の概念		
3	法令の種類	法令の種類		
4	獣医師法	法律の概念、条項		
5	獣医療法	法律の概念、条項		
6	ペットフード安全法	法律の概念、条項		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却解説	テスト解説		
9	身体障害者補助犬法	法律の概念、条項		
10	狂犬病予防法	法律の概念、条項		
11	感染症法	法律の概念、条項		
12	家畜伝染病予防法	法律の概念、条項		
13	鳥獣保護管理法	法律の概念、条項		
14	その他	その他の法令		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説 総まとめ	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：公衆衛生学		松尾	■ 1年 後期
到達目標	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	公衆衛生総論	定義。 公衆衛生における獣医療の役割	
3	環境衛生	環境衛生とは	
4	環境衛生	生活環境の保全、改善	
5	環境衛生	汚染対策 環境問題	
6	食品衛生	食品の安全確保、保存方法	
7	食品衛生	食品を介した人獣共通感染症	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	食中毒	食中毒とは	
10	食中毒	種類、原因、予防	
11	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	
12	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	
13	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	
14	疫学	定義、概要	
15	薬剤耐性	定義、対策	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物人間関係学		松尾	■ 1年 後期
到達目標	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から理解する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要/学習範囲	
2	AAA AAT AAEについて		
3	施設への導入、現状 日本の活動		
4	世界の活動 資格		
5	セラピーの適応者、動物 活動方法		
6	セラピーの適応者、動物 活動方法		
7	試験対策		
8	中間テスト	筆記テスト	
9	動物への注意		
10	セラピー効果の注意点		
11	セラピー効果の注意点		
12	動物への注意		
13	参加動物のチェック		
14	活動について		
15	活動について		
16	テスト	筆記試験	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物福祉論		谷川	■ 1年 後期
到達目標	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。		2単位 32時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	動物の愛護とは	動物福祉と愛護の違い	
3	アニマルウェルフェア	動物福祉とは何か	
4	アニマルウェルフェア	動物福祉概念、歴史	
5	アニマルウェルフェア	西欧と日本における関わり方の 歴史の変遷	
6	様々な動物観と影響要因	日本における動物福祉の考え方	
7	様々な動物観と影響要因	日本における動物福祉の考え方	
8	中間テスト	これまでの学習範囲	
9	日本の動物の愛護	動物愛護管理法の意味、 目的、概要	
10	日本の動物の愛護	動物愛護管理法の意味、 目的、概要	
11	産業動物の福祉	5つの自由	
12	実験動物の福祉	3つのR	
13	安楽死	定義、事例	
14	生命倫理	4原則	
15	飼育動物の災害時の対応	同伴避難先での福祉にかなった 環境や対応	
16	テスト	最終テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物行動学		間	■ 1年 前期	
到達目標	動物（犬）の本能行動と意味を理解する			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	到達イメージの説明		
2	犬の能力①	嗅覚・観察力		
3	犬の本能①	社会順位・狼との比較		
4	犬の本能②	繁殖・親子		
5	犬の本能③	独占欲・食欲・その他		
6	犬の学習①	条件付け		
7	テスト	筆記試験		
8	返却・解説 犬の学習②	刷り込み		
9	草食動物と肉食動物の違い	歯／消化管ウシ（ホルモン／産生部位／作用）の役割 腸の長さの違い		
10	草食動物と肉食動物の違い	草食動物（ウマ、ウサギ、モルモット）雑食動物ブタ、ラット、ハムスター 肉食フェレット		
11	発達行動①	行動の発達（胎生期～高齢期）各期の行動を知る		
12	発達行動②	発達行動の特徴を覚える		
13	犬の学習③	罰（直接、間接） 選択行動		
14	犬の能力②	耳と尻尾の表情		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却・解説	行動予測		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名： 伴侶動物学		日高	■ 1年 前期	
到達目標	動物に関わる法律、歴史を学習し、現場で飼い主に適切な飼養管理や義務などを説明できるアドバイザーになる			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	業界別の重要な心構え		
2	管理士とは何か 役割	仕事内容（管理士）や 必要性		
3	愛玩動物飼養管理士の社会活動	仕事内容（管理士）や 必要性		
4	動物愛護論 日本人の動物観	愛護とは何か、先進国の 昔と今。思想による違い。		
5	近代的動物愛護週間の始まりと人物	愛護とは何か、先進国の 昔と今。思想による違い。		
6	動物の権利と動物権運動	今までの世界の動き。 日本との違い。		
7	中間テスト	協会と基本理念の復習。		
8	人と動物の関係学	歴史を振り返りつつ、現代 の関係と問題点。		
9	人を支える動物たち。救助犬、介助犬、盲導犬等	使役犬の種類と法律。		
10	動物が人に与える影響（子供と大人）	子供の教育と発達。		
11	動物関連法令 動物と法律の関係	法律の歴史と思想について。		
12	動物の愛護及び管理に関する法律	実験動物等に関する法律。		
13	動物の愛護及び管理に関する法律	実験動物等に関する法律。		
14	動物の飼育管理及び保管・動物に関わる関連法令	第1種・第2種 取扱業について。		
15	野生動物に関わる関連法令	特定動物など。		
16	期末テスト	動物取扱業などの復習。		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名： 伴侶動物学		日高	■ 1年 後期	
到達目標	動物に関わる法律、歴史を学習し、現場で飼い主に適切な飼養管理や義務などを説明できるアドバイザーになる			2単位 32時数
				実務経験有
授業の方法	講義	学科名：総合ビジネス学科		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	動物を取扱う上での注意点など		
2	動物の体の仕組みと動き	種類よっての特性と管理方法		
3	動物の体の仕組みと動き	種類よっての特性と管理方法		
4	動物の飼育管理	種類よっての特性と管理方法		
5	動物との正しい関わり方	種類よっての特性と管理方法		
6	動物の健康増進と疾病予防	種類よっての特性と管理方法		
7	テスト			
8	環境衛生と飼養衛生	動物種による環境設定、 公衆衛生について		
9	動物の飼養に伴う公衆衛生・社会生活上の問題	動物種による環境設定、 公衆衛生について		
10	犬の気持ちを理解する 犬の健康管理	犬の学習理論とライフサイクル		
11	猫の飼養管理	猫の学習理論とライフサイクル		
12	猫の気持ちを理解する 猫の健康管理	猫の学習理論とライフサイクル		
13	その他哺乳類の飼養管理	哺乳類の種類などや病気		
14	鳥類の飼養管理	鳥類の種類などや病気		
15	爬虫類の飼養管理	爬虫類の種類などや病気		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：産業動物学		待鳥	■ 2年 前期	
到達目標	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。			2単位 32時数
				実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	愛玩動物飼養管理士の必要性	2級の復習		
3	家畜	広井辰太郎・新渡部夫人たちの動物愛護法		
4	産業動物として用いられる動物種	家庭動物・展示動物・実験動物・産業動物・野生動物		
5	産業動物として用いられる動物種	動物愛護・愛護運動・家畜伝染予防法・検疫法		
6	産業動物として用いられる動物種	と畜法・医療法・感染症法		
7	産業動物として用いられる動物種	化製場に関する法律・廃棄物法		
8	中間テスト			
9	体の仕組み	法的責任		
10	体の仕組み	・刑法・民法		
11	体の仕組み	自然環境保全・特定外来生物法・絶滅の恐れがある野生動物法		
12	体の仕組み	動物の行動学(犬猫)		
13	体の仕組み	人畜共通感染症・エボラ出血熱・ペスト・マールブルグ症		
14	体の仕組み	結核・ラッサ熱・腎症候性出血熱・猫ひっかき病		
15	体の仕組み	トキソプラズマ・エキノコックス		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：実験動物学		待鳥	■ 2年 後期
到達目標	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ。		1単位 16時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	実験動物	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
3	種類	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
4	遺伝的コントロール	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
5	微生物学的コントロール	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
6	環境コントロール	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
7	実験動物の福祉	実験動物の種類、飼育管理法、遺伝的コントロール、微生物学的コントロール、環境コントロール	
8	テスト	テスト	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：野生動物学		待鳥	■ 2年 後期
到達目標	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。		1単位 16時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	野生動物の定義	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
3	野生動物の定義	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
4	種類と生息分布	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
5	種類と生息分布	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
6	種類と生息分布	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
7	種類と生息分布	野生動物の種類、外来生物、展示動物、鳥獣害、保全、絶滅危惧種、レッドリスト、動物園の役割	
8	テスト	テスト	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物内科看護学		永倉・松尾	■ 1年 前期
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明／学習のポイント 試験範囲	
2	一般的な管理	犬と猫の健康とは何か？ 食事と水、寝る場所の管理	
3	運動の管理	個体に適した運動量の算出、 安全な歩かせ方、歩行異常の見極め	
4	排出の管理	衛生的な排泄、排泄による 健康管理（異常の早期発見）匂い、便の状態	
5	病気の早期発見のための管理	健常時と異常なしくさ、 容態の違いを知る	
6	定期的な健康診断	体重測定、検尿、検便、血液検査、 必要に応じて継続的な検査	
7	テスト	筆記テスト	
8	テスト解説・復習	テスト解説	
9	バイタルサインとは	生きている証拠を確かめる	
10	バイタルチェックと体重測定	バイタルチェックと体重測定	
11	保定法	様々な保定法	
12	食事の管理と関わり	人工的な給仕、 症状に合った調理	
13	輸液管理の基礎知識	輸液の意味、必要性、 輸液剤の種類	
14	輸液ルート	経口投与、皮下投与、 静脈内投与、腹腔内投与	
15	テスト	筆記テスト	
16	テスト解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物外科看護学		永倉・松尾	■ 1年 前期
到達目標	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明/学習のポイント 試験範囲	
2	外科診療時の補助に必要な技術	外科診療時の補助に必要な技術とは	
3	無菌操作	無菌操作の重要性	
4	手術準備	手術前の動物に必要な情報。 アセスメント、飼い主への必要な指示	
5	手術準備	手術室の環境管理	
6	手術準備	滅菌と消毒	
7	テスト	筆記テスト	
8	テスト解説・復習	テスト解説	
9	手術施設、設備の準備と管理	衛生的管理と清掃 機器の管理と消耗品の管理とストック	
10	術者に必要な準備	手洗いの技術 術着の着衣の 着脱と介助 無菌の意味	
11	手術器具	器具の名称と用途 準備法	
12	消耗品管理	在庫管理の重要性 使用后使用前チェック チェック表の活用	
13	術前・術中の動物管理と看護	手術前の検査の有無 術前の食事飲水、排尿管理	
14	術後	術後の動物の管理観察	
15	テスト	筆記テスト	
16	テスト解説・犬の保定	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床学看護学総論		池上	■ 2年 前期
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。		2単位 32時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
3	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
4	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
5	動物看護記録	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
6	動物看護記録	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却解説	テスト解説	
9	QOL	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
10	QOL	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
11	ターミナルケア	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
12	ターミナルケア	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
13	死の看取りへの関わり	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
14	死の看取りへの関わり	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説 総まとめ	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物臨床学看護学Ⅰ		永倉	■ 1年 前期	
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	循環器疾患	心臓の解剖・心不全		
3	循環器疾患	心臓の解剖・心不全		
4	循環器疾患	心臓の解剖・心不全		
5	循環器疾患	僧帽弁閉鎖不全・猫の心筋症		
6	循環器疾患	僧帽弁閉鎖不全・猫の心筋症		
7	循環器疾患	フィラリア症・門脈シャント		
8	循環器疾患	フィラリア症・門脈シャント		
9	呼吸器疾患	気管虚脱・猫の上部気道炎		
10	呼吸器疾患	気管虚脱・猫の上部気道炎		
11	呼吸器疾患	気管支炎・ケンネルコフ		
12	呼吸器疾患	気管支炎・ケンネルコフ		
13	呼吸器疾患	肺炎・胸腔疾患 膿胸など		
14	呼吸器疾患	肺炎・胸腔疾患 膿胸など		
15	試験対策	振替 復習など		
16	中間テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物臨床学看護学Ⅰ		永倉	■ 1年 後期	
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞		
3	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞		
4	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞		
5	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞		
6	骨疾患	骨折について（種類・特徴・治療）		
7	骨疾患	骨折について（種類・特徴・治療）		
8	骨疾患	脱臼（特徴・治療） 膝蓋骨脱臼		
9	骨疾患	脱臼（特徴・治療） 膝蓋骨脱臼		
10	骨疾患	股関節形成不全・脱臼・ レッグヘルテス症		
11	骨疾患	股関節形成不全・脱臼・ レッグヘルテス症		
12	骨疾患	椎間板ヘルニア 変液性脊椎症		
13	骨疾患	椎間板ヘルニア 変液性脊椎症		
14	ヘルニア疾患	ヘルニアについて 横隔膜ヘルニア・会陰ヘルニア		
15	ヘルニア疾患	ヘルニアについて 横隔膜ヘルニア・会陰ヘルニア		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床学看護学Ⅱ		永倉	■ 2年 前期
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	眼疾患	角膜炎・結膜炎・乾性角膜炎	
3	眼疾患	白内障・緑内障	
4	眼疾患・耳疾患	眼底の病気（網膜など） 外耳炎	
5	泌尿器疾患	腎臓の仕組み・腎不全	
6	泌尿器疾患	尿路感染症・尿石症	
7	泌尿器疾患	泌尿器疾患の食事管理	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	内分泌疾患	ホルモンについて・糖尿病	
10	内分泌疾患	甲状腺機能亢進症・低下症	
11	内分泌疾患	副腎機能亢進症・ 上皮小体機能亢進症	
12	皮膚疾患	皮膚用語・膿皮症・脂漏症	
13	皮膚疾患	アレルギー性皮膚炎	
14	皮膚疾患	真菌症・内分泌性皮膚炎	
15	皮膚疾患	外部寄生虫性皮膚炎	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床学看護学Ⅱ		永倉	■2年 後期
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	泌尿器疾患	腎臓について・腎不全	
3	泌尿器疾患	尿路感染症	
4	泌尿器疾患	尿石症	
5	泌尿器疾患	予防と検査	
6	腫瘍	総論	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却・解説	テスト解説	
9	腫瘍	腫瘍の例	
10	腫瘍	乳腺腫瘍・皮膚腫瘍	
11	腫瘍	骨腫瘍・猫のリンパ腫	
12	猫の伝染病	猫エイズ・猫白血病	
13	眼疾患	眼の解剖・眼瞼の病気	
14	眼疾患	角膜炎・結膜炎・乾性角結膜炎	
15	眼疾患	白内障・緑内障・眼底疾患	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物臨床栄養学		池上	■ 1年 前期	
到達目標	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶ			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	栄養学総論	基礎栄養素 6大栄養素とその働き		
3	6大栄養素	水 たんぱく質		
4	6大栄養素	脂肪 ミネラル		
5	6大栄養素	ビタミン		
6	6大栄養素	炭水化物		
7	中間テスト	栄養素のまとめ試験		
8	テスト解説			
9	犬と猫の栄養要求の違い	体の構造の違い 必要な栄養素の違い		
10	犬と猫の栄養要求の違い	犬（猫）に必要な栄養素の特徴		
11	BCS評価とカロリー計算の仕方	BCS		
12	BCS評価とカロリー計算の仕方	エネルギー		
13	ペットフード表示の見方			
14	試験対策	前期の復習・補足		
15	最終試験			
16	解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物臨床栄養学		池上	■ 1年 後期	
到達目標	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶ			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	ライフステージ別の栄養管理	繁殖期（妊娠期・授乳期）		
3	ライフステージ別の栄養管理	成長期（哺乳期・離乳期・離乳後）		
4	ライフステージ別の栄養管理	成犬・成猫		
5	ライフステージ別の栄養管理	老犬・老猫		
6	ペットフードの種類	目的別 ライフステージ別		
7	中間試験			
8	返却・解説			
9	ペットフードの種類	水分含有量別 機能別		
10	関節 眼	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
11	ガン・肥満 泌尿器系	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
12	肝臓 心臓	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
13	消化器系 内分泌系	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
14	口腔疾患	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
15	最終試験			
16	返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床検査学		永倉・松尾	■ 1年 後期
到達目標	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	輸液療法	器具・つなぎ方・流量の計算	
3	血液検査	血液の成分とその役割 採血について・抗凝固剤	
4	血液検査	一般検査・検査方法	
5	血液検査	白血球の分類・特徴	
6	血液検査	血液の染色・顕微鏡操作 生化学検査・検査方法	
7	実技テスト	実技テスト	
8	筆記テスト	筆記テスト	
9	糞便検査	検査の意義・ベンの特徴 内部寄生虫について	
10	糞便検査	検査の意義・ベンの特徴 内部寄生虫について	
11	糞便検査	内部寄生虫の虫卵・原虫 検査方法	
12	糞便検査	再度検査と復習	
13	骨疾患の検査	骨格標本・膝蓋骨の触診 膝の靭帯の検査	
14	骨疾患の検査	股関節の検査・神経検査	
15	実技テスト	実技テスト	
16	筆記テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物医療コミュニケーション		池上	■ 2年 前期	
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性に動きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する 幼齢動物・老齢動物の看護・ケア・管理・疾患について学ぶ			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	クライアントサービス	体の仕組み・バイタルサイン		
3	クライアントサービス	看護過程の流れ		
4	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
5	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
6	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
7	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	解答・解説	テスト解説		
10	接遇とホスピタリティ	シミュレーション		
11	社会人コミュニケーション	シミュレーション		
12	診察室でのコミュニケーション	シミュレーション		
13	受付でのコミュニケーション	シミュレーション		
14	院内スタッフ指導 グリーフケア	看取り、お別れ、お見送り、 ペットロス		
15	テスト	筆記テスト		
16	解答・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物形態機能実習		永倉・松尾	■ 1年 後期
到達目標	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	動物形態機能学実習概論	体の構造	
3	動物形態機能学実習概論	体の構造	
4	用語	用語の理解	
5	骨・関節	骨格の理解。関節の構造、 はたらき。	
6	骨・関節	骨格の理解。関節の構造、 はたらき。	
7	実技テスト	実技テスト	
8	筆記テスト	筆記テスト	
9	内臓器官の位置	オスメスの内臓器官の位置と概観を知る。	
10	内臓器官の位置	オスメスの内臓器官の位置と概観を知る。	
11	深層の筋	筋のはたらき	
12	顕微鏡	顕微鏡操作、取り扱い	
13	顕微鏡操作	顕微鏡操作、取り扱い	
14	顕微鏡操作	顕微鏡操作、取り扱い	
15	実技テスト	実技テスト	
16	筆記テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物内科看護学実習		谷川・日高	■ 1年 前期
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明/学習のポイント 試験範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	担当犬の健康チェック	
10	グルーミング	担当犬の健康チェック	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物内科看護学実習		谷川	■ 1年 後期	
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	グルーミング	犬の健康チェック/グルーミング		
3	グルーミング	同上		
4	グルーミング	同上		
5	グルーミング	同上		
6	グルーミング	同上		
7	グルーミング	同上		
8	中間テスト	犬の扱い方を確認		
9	グルーミング	犬の健康チェック/グルーミング		
10	グルーミング	同上		
11	グルーミング	同上		
12	グルーミング	同上		
13	グルーミング	同上		
14	グルーミング	同上		
15	グルーミング	同上		
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		松尾・永倉	■ 2年 前期
到達目標	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	身体一般検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
3	血液検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
4	血液検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
5	尿検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
6	糞便検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
7	実技テスト	テスト	
8	筆記テスト	テスト	
9	細胞診	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
10	細胞診	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
11	心電図検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
12	X線検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
13	超音波検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
14	神経学的検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
15	実技テスト	テスト	
16	筆記テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		松尾・永倉	■ 2年 後期
到達目標	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数 実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	神経学的検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
3	内視鏡検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
4	内視鏡検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
5	CT MRI検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
6	CT MRI検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
7	実技テスト	テスト	
8	筆記テスト	テスト	
9	皮膚検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
10	皮膚検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
11	眼科検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
12	眼科検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
13	外耳道検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
14	外耳道検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
15	実技テスト	テスト	
16	筆記テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：	動物外科看護学実習	松尾・永倉	■ 2年 前期
到達目標	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	外科診療時の補助	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
3	手術準備	繁殖周期・交配適期手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
4	手術準備	スミア検査・妊婦診断手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
5	手術室管理 消毒	分娩の介助・帝王切開手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
6	術者の準備	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
7	実技テスト	テスト	
8	筆記テスト	テスト	
9	手術器具	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
10	危険物管理	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
11	動物管理と看護	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
12	術中の補助	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
13	麻酔	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
14	術後の管理	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命	
15	実技テスト	テスト	
16	筆記テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：動物臨床看護学実習		松尾・永倉	■ 2年 後期
到達目標	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	動物看護過程	動物看護過程の展開	
3	動物看護過程	動物看護過程の展開	
4	動物看護過程	動物看護過程の展開	
5	動物看護過程	動物看護過程の展開	
6	動物看護過程	入院動物看護	
7	動物看護過程	入院動物看護	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	動物看護記録	動物看護記録の作成	
10	動物看護記録	動物看護記録の作成	
11	動物看護記録	動物看護記録の作成	
12	動物看護記録	動物看護記録の作成	
13	動物看護記録	動物看護記録の作成	
14	ペインスケール	痛みの評価	
15	ペインスケール	痛みの評価	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：グルーミングA		谷川	■ 2年 前期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数
			実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
10	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：グルーミングA		谷川	■ 2年 後期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	担当犬の健康チェック	
10	グルーミング	担当犬の健康チェック	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：グルーミングB		谷川	■ 2年 前期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
10	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：グルーミングB		谷川	■ 2年 後期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数
			実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	担当犬の健康チェック	
10	グルーミング	担当犬の健康チェック	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認、仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：猫学		待鳥	■2年 後期	
到達目標	猫を理解する			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準	筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業概要、学習範囲	
2	猫について		歴史・進化	
3	猫について		現代史	
4	体の仕組み		聴覚・嗅覚	
5	行動		行動	
6	猫種		種類別特徴	
7	猫種		種類別特徴	
8	中間テスト		筆記テスト	
9	猫種		種類別特徴	
10	猫種		種類別特徴	
11	猫種		表現コミュニケーション	
12	猫の病気		病気 外科	
13	猫の病気		病気 内科	
14	猫の扱い方		ボディランゲージ	
15	猫の扱い方		扱い方	
16	テスト		筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：犬種学		日高	■ 1年 前期	
到達目標	各犬種を理解することで特徴性格、習性をつかみ 犬の扱いに関して対応方法を学習する			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	JKCについて		
2	犬の起源・進化 家畜化 人気犬種の昔と今	歴史からの犬猫の違い		
3	第一グループ ブリアードまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
4	第一グループ マレンマシーブダッグまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
5	第一グループ シェルティまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
6	第二グループ ボクサーまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
7	第二グループ 土佐まで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
8	中間テスト	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
9	第3グループ概要	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
10	第3グループ ボーダーテリアまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
11	第3グループ ジャックラッセルまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
12	第3グループ ノーフォークテリアまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
13	第3グループ ヨーキーまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
14	第4グループ ダックスフンドまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
15	第5グループ バセンジーまで	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		
16	期末テスト	犬の昔の仕事内容。 関する特性と注意点。		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物看護総合実習		動物病院	■ 1年 後期	
到達目標	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		研修評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	インターンシップ (動物病院等)			
2	インターンシップ (動物病院等)			
3	インターンシップ (動物病院等)			
4	インターンシップ (動物病院等)			
5	インターンシップ (動物病院等)			
6	インターンシップ (動物病院等)			
7	インターンシップ (動物病院等)			
8	インターンシップ (動物病院等)			
9	インターンシップ (動物病院等)			
10	インターンシップ (動物病院等)			
11	インターンシップ (動物病院等)			
12	インターンシップ (動物病院等)			
13	インターンシップ (動物病院等)			
14	インターンシップ (動物病院等)			
15	インターンシップ (動物病院等)			
16	インターンシップ (動物病院等)			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：動物看護総合実習		動物病院	■ 2年 前期	
到達目標	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	研修評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	インターンシップ (動物病院等)			
2	インターンシップ (動物病院等)			
3	インターンシップ (動物病院等)			
4	インターンシップ (動物病院等)			
5	インターンシップ (動物病院等)			
6	インターンシップ (動物病院等)			
7	インターンシップ (動物病院等)			
8	インターンシップ (動物病院等)			
9	インターンシップ (動物病院等)			
10	インターンシップ (動物病院等)			
11	インターンシップ (動物病院等)			
12	インターンシップ (動物病院等)			
13	インターンシップ (動物病院等)			
14	インターンシップ (動物病院等)			
15	インターンシップ (動物病院等)			
16	インターンシップ (動物病院等)			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅰ		吉満	■ 1年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業、企業研修の説明			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅰ		吉満	■2年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業、企業研修の説明			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：キャリアガイダンス		北島	■ 1年 前期
到達目標	業界EXPO（就職活動）に向けた準備 業界EXPOに向けた明確な目標の設定 自己分析・企業のリストアップ		2単位 32時数
			実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	明確な自己把握 企業把握の発表
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	ドリームマップ	2年間および第1クールの目標の設定	
3	自己分析①	過去（中学や高校時代）のエピソードを交えた、 自分の掘り起こし	
4	自己分析②	エピソードを交えた、具体的な行動や体験の掘り 起こし	
5	自己分析③	中学や高校時代のエピソードを交えた、現在の自 分の掘り起こし	
6	自己分析④	エピソードを交えた、具体的な行動や体験の掘り 起こし	
7	自己分析⑤	自分の長所・短所の発見	
8	自己PR作成/評価	テスト	
9	自己PR修正	指摘された箇所を修正	
10	ドリームマップ	2年間の目標の設定・確認	
11	企業リストアップ	WEBを活用した企業のリストアップ（3～5社）	
12	企業研究①	リストアップした企業の研究（企業情報の収集）	
13	企業研究②	リストアップした企業の研究（企業情報の収集）	
14	企業研究③	リストアップした企業の研究（企業情報の収集）	
15	企業研究④	リストアップした企業の研究（企業情報の収集）	
16	自己分析/最終評価	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：キャリアガイダンス		北島	■ 1年 後期
到達目標	業界EXPO（就職活動）に向けた準備 業界EXPOに向けた明確な目標の設定からの就職活動へと結びつける 具体的な就職活動のイメージの明確化		2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	明確な自己把握 企業把握の発表
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	ドリームマップ	2年間および第3クールの目標の設定	
3	企業研究⑤	業界EXPO招聘企業の研究	
4	企業研究⑥	業界EXPO招聘企業の研究	
5	自己分析⑦	履歴書の作成	
6	自己分析⑧	プロフィールシートの作成	
7	自己分析⑨	プロフィールシートの作成	
8	業界EXPO参加準備	テスト	
9	業界EXPO参加準備	業界EXPO参加に向けた、立ち居振る舞いなどの解説	
10	業界EXPO振り返り	業界EXPOを終えての就職活動への結びつけ	
11	企業研究⑦	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握	
12	企業研究⑧	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握	
13	自己分析⑩	履歴書完成	
14	社会性検定の準備	個人・集団面接 説明・練習	
15	社会性検定の準備	個人・集団面接 説明・練習 振り返りシートの作成	
16	社会性検定の実施	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：硬筆書写		安藤	■ 1年 前期
到達目標	文字の基本と書式を学ぶ 平仮名、片仮名、縦組、横組み		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記テスト 実技テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について	
2	自分の名前を書く	姿勢、ペンの持ち方、平仮名	
3	平仮名の字源	文章中での平仮名の役割	
4	平仮名の字源	平仮名の書き取り	
5	平仮名、片仮名	まとめ提出	
6	横書き	横書きの様式	
7	横書き	横書きの様式	
8	中間テスト	筆記テスト：範囲実技テスト：	
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	履歴書の書き方①	下書きをつくる 添削	
11	履歴書の書き方②	添削から1枚仕上げる	
12	履歴書の書き方③	まとめ提出	
13	書写検定①	横書き	
14	書写検定②	横書き	
15	書写検定③	ハガキの横書き	
16	最終テスト	筆記テスト：範囲実技テスト：	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：硬筆書写		安藤	■ 1年 後期
到達目標	文字の基本と書式を学ぶ 平仮名、片仮名、縦組、横組み		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記テスト 実技テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について	
2	書写検定対策	行書、草書の読み方	
3	書写検定対策	文章中での平仮名の役割	
4	書写検定対策	縦書き 常用漢字 (提出)	
5	書写検定対策	理論 (過去問より解説) 掲示文の書き方 油性マジック (提出)	
6	書写検定対策	模擬試験 (過去問)	
7	書写検定	検定実施	
8	中間テスト	筆記テスト実技：授業で書いた課題提出	
9	実用書 ペン字	名前 (楷書、行書) 縦書き9行	
10	実用書 ペン字	ハガキ、封筒の書き方個人宛 (提出)	
11	実用書 ペン字	封筒の書き方 (企業) (提出)	
12	履歴書の書き方	自己PR、志望動機	
13	履歴書の書き方	自己PR、志望動機	
14	履歴書/送り状/封筒	インターン先の企業への送付書類一式	
15	お礼状の書き方	インターン後のお礼状フォーマット作成	
16	最終テスト	実技テスト：改題の提出	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：トリミングA		谷川・日高	■ 1年 後期
到達目標	グルーミング検定合格関係なく体のカット、顔カットの大まかな流れを理解する教師の見本を見ながら大まかに形を作れるカットの面を揃えられるようになる		16単位 256時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	到達レベル 検定についてスケジュール説明	
2	トリミング	2人で1頭時間内に 体のカットを終わらせる	
3	トリミング	同上	
4	トリミング	同上 体のカットを 理解した学生から顔のカット	
5	トリミング	同上	
6	トリミング	同上	
7	トリミング	同上	
8	中間テスト	シザーリング・コーミングの確認	
9	トリミング	2人で1頭時間内に仕上げる。	
10	トリミング	同上 できる学生は一人で 1頭仕上げる	
11	トリミング	同上	
12	トリミング	同上	
13	トリミング	同上	
14	トリミング	同上	
15	トリミング	同上	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：トリミングA		日高	■ 2年 前期
到達目標	各自仕上げる（犬種問わず） 仕上げの時間5時間以内		16単位 256時数
			実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	トリミング	一人でサマーカット・全身カット	
3	トリミング	同上	
4	トリミング	同上	
5	トリミング	同上	
6	トリミング	同上	
7	トリミング	同上	
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認	
9	トリミング	同上	
10	トリミング	同上	
11	トリミング	同上	
12	トリミング	同上	
13	トリミング	同上	
14	トリミング	同上	
15	トリミング	同上	
16	テスト	仕上げの時間・仕上がり確認	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：トリミングA		吉満	■ 2年 後期
到達目標	各就職先にあったトリミング技術の向上 犬種問わず仕上げの時間3時間以内		16単位 256時数
			実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	トリミング	C級受験者、サロン内定者、希望者は シザーでカット 病院、ショップ内定者は丸刈り	
3	トリミング	同上 デザインカット研究	
4	トリミング	同上	
5	トリミング	同上	
6	トリミング	同上	
7	トリミング	同上	
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がりが具合の確認	
9	トリミング	同上	
10	トリミング	同上	
11	トリミング	同上	
12	トリミング	同上	
13	トリミング	同上	
14	トリミング	同上	
15	トリミング	同上	
16	テスト	仕上げの時間・仕上がりの確認	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：トリミングB		吉満・日高	■ 1年 後期	
到達目標	グルーミング基礎を覚える			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業の説明/道具、消耗剤について/授業の流れ説明		
2	グルーミング	グルーミング犬種のグルーミングを2人で1頭終わるところまで		
3	グルーミング	同上		
4	グルーミング	同上 バリカン作業 シザーリング合格次第足回りカット		
5	グルーミング	同上		
6	グルーミング	同上 作業のできる学生は1人1頭		
7	グルーミング	同上		
8	中間テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認		
9	グルーミング	授業時間内にグルーミング終了		
10	グルーミング	授業時間内にグルーミング終了		
11	グルーミング	同上		
12	グルーミング	同上		
13	グルーミング	同上		
14	グルーミング	同上 検定合格者は2人で1頭丸り		
15	グルーミング	同上		
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：トリミングB		日高	■2年 前期	
到達目標	全身バリカンを時間内で終わらせる 怪我をさせないバリカンの当て方 カットの綺麗さ・バランスを意識			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業概要、学習範囲	
2	トリミング		2人で1頭時間内に終わらせる	
3	トリミング		同上	
4	トリミング		同上	
5	トリミング		同上	
6	トリミング		同上	
7	トリミング		同上	
8	中間テスト		シザーリング・コーミング・バリカンの当て方	
9	トリミング		同上 できる学生は一人で1頭仕上げる	
10	トリミング		同上	
11	トリミング		同上	
12	トリミング		同上	
13	トリミング		同上	
14	トリミング		同上	
15	トリミング		同上	
16	テスト		テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：トリミングB		谷川・日高	■ 2年 後期	
到達目標	各就職先にあったトリミング技術の向上 個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	トリミング	丸刈り		
3	トリミング	同上		
4	トリミング	同上		
5	トリミング	同上		
6	トリミング	同上		
7	トリミング	同上		
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認		
9	トリミング	同上		
10	トリミング	同上		
11	トリミング	同上		
12	トリミング	同上		
13	トリミング	同上		
14	トリミング	同上		
15	トリミング	同上		
16	テスト	仕上げの時間・仕上がり確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ドクトレーニング		間	■ 1年 前期	
到達目標	犬の問題行動の意味を考え、理解する 問題行動への対処法を理解し、行動する			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業内容概略／試験範囲		
2	問題行動	問題行動とストレス		
3	問題行動	フラストレーション・ エスカレーション		
4	問題行動	吠える主要原因		
5	問題行動	吠え方が不安・威嚇		
6	問題行動	問題行動の対処法		
7	問題行動	問題行動トレーニング		
8	中間テスト	テスト		
9	問題行動	問題行動トレーニング		
10	問題行動	咬む原因		
11	問題行動	恐怖・不安での行動		
12	問題行動	攻撃・威嚇		
13	問題行動	対処・注意点		
14	問題行動	不安で咬む		
15	問題行動	手を咬む・足を咬む		
16	テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ドックトレーニング		間	■ 1年 後期	
到達目標	犬と飼い主のコミュニケーターとしての知識、技術を身につける			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	基本トレーニング	1年時の見直し		
3	犬の観察	性格・行動を見る		
4	犬の観察	行動の問題点を探す		
5	犬の観察	コミュニケーションをとる		
6	レポート作成	観察したことをまとめる		
7	技術テスト	テスト		
8	技術テスト	テスト		
9	トレーニング	テスト復習		
10	トレーニング	スケジュール発表		
11	トレーニング	歩行訓練		
12	トレーニング	歩行訓練		
13	トレーニング	中間発表		
14	トレーニング	問題行動トレーニング 初めての犬を見る		
15	トレーニング	問題行動トレーニング 初めての犬を見る		
16	技術テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ドクトレーニング		間	■ 2年 前期	
到達目標	犬の問題行動の意味を考え、理解する 問題行動への対処法を理解し、行動する			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	問題行動	問題行動とストレス		
3	問題行動	フラストレーション・ エスカレーション		
4	問題行動	吠える主要原因		
5	問題行動	吠え方が不安・威嚇		
6	問題行動	問題行動の対処法		
7	問題行動	問題行動トレーニング		
8	中間テスト	テスト		
9	問題行動	問題行動トレーニング		
10	問題行動	咬む原因		
11	問題行動	恐怖・不安での行動		
12	問題行動	攻撃・威嚇		
13	問題行動	対処・注意点		
14	問題行動	不安で咬む		
15	問題行動	手を咬む・足を咬む		
16	テスト	実践テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ドクトレーニング		間	■2年 後期	
到達目標	犬と飼い主のコミュニケーターとしての知識、技術を身につける			8単位 128時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業の説明/注意		
2	犬の体づくり	マッサージの有効性 マッサージケア 背筋		
3	犬の体づくり	マッサージケア フットケア		
4	犬の体づくり	マッサージケア ストレッチ ウォーミングアップ		
5	ルールの理解	モチベーションコントロール		
6	ルールの理解	モチベーションコントロール		
7	ルールの理解	モチベーションコントロール		
8	中間テスト	テスト		
9	アジリティ	ハードル・トンネル		
10	アジリティ	ハードル・トンネル		
11	アジリティ	ハードル・トンネル		
12	アジリティ	ディスク スローイング		
13	アジリティ	ディスク スローイング		
14	犬の体づくり	ドッグスポーツ栄養学		
15	アジリティ	ハードル・トンネル		
16	テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：ドクトレーニング基礎		間	■ 1年 前期
到達目標	基本動作を理解している 犬それぞれの性格を理解し、コントロールしている		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／注意事項	
2	コミュニケーションをとる	犬に声をかけたり動かし 性格を見る	
3	コミュニケーションをとる	犬の性格カルテを作成	
4	リードや体を使い誘導する	リードの使い方	
5	リードや体を使い誘導する	リードの使い方	
6	基本動作を誘導する	基本動作を誘導する	
7	「褒める」を動作に加える	声を出す 動く	
8	中間テスト	コースを回る	
9	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認	
10	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認	
11	リード・声・動作でのコントロール	同上	
12	リード・声・動作でのコントロール	同上	
13	声・動作のみのコントロール	同上	
14	声・動作のみのコントロール	2人一組でお互いの動きを確認	
15	テスト練習	歩行訓練	
16	テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科
教科名：ドクトレーニング基礎		間	■ 1年 後期
到達目標	トレーニング基礎を覚える		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の到達イメージ 授業の学習範囲	
2	道具の名前・使い方	犬への接し方・注意点	
3	道具の名前・使い方	コマンドの使い方 動き方/注意点	
4	リードの使い方	コマンド練習	
5	リードの使い方	コマンド練習	
6	リーダーウォーク	まっすぐ歩く	
7	リーダーウォーク	方向転換	
8	テスト	リード・コマンド	
9	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク	
10	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク	
11	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク	
12	基本動作	ハウス・リーダーウォーク 待て～来い	
13	基本動作	座れ～来い リーダーウォーク	
14	テスト内容での練習	座れ・伏せ・待て・来い・ リーダーウォークなどの実技テスト練習	
15	テスト	座れ～リーダーウォーク	
16	ドッグコントロール	保定について	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：キャットグルーミング		日高	■ 1年 後期	
到達目標	怪我をしない、させない 猫のグルーミングの楽しさを教える 猫の気持ちを表情・動作で理解できるようになる			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業の説明／注意	
2	グルーミング		デモンストレーション ケージからの出し方・注意点・怪我をしない方法	
3	グルーミング		時間をかけないグルーミング (2人で1頭)	
4	グルーミング		同上	
5	グルーミング		同上	
6	グルーミング		同上	
7	グルーミング		同上	
8	中間テスト		テスト	
9	グルーミング		同上	
10	グルーミング		同上	
11	グルーミング		同上	
12	グルーミング		同上	
13	グルーミング		同上	
14	グルーミング		同上	
15	グルーミング		同上	
16	テスト		テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅰ		吉満	■ 1年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅱ		吉満	■ 1年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅱ		吉満	■2年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅱ		吉満	■2年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅲ		吉満	■ 2年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅲ		間	■2年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			8単位 128時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修IV		間	■2年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			15単位 240時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：企業研修IV		吉満	■2年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			15単位 240時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	評価	企業評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ワーキング・スタディ		吉満	■ 1年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			6単位 96時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業評価			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ワーキング・スタディ		吉満	■ 1年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			6単位 96時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業評価			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ワーキング・スタディ		吉満	■ 2年 前期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			6単位 96時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業評価			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：動物看護学科	
教科名：ワーキング・スタディ		吉満	■2年 後期	
到達目標	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。			6単位 96時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修 説明・指導	説明・指導		
2	企業研修 説明・指導	必要書類準備		
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業評価			